

医工学研究科 教育研究支援基金

東北大学特定基金へのご協力のお願い

東北大学医工学研究科は
先進的医療技術や医療機器を創出し、国際展開できる
イノベーション人材を育成しています。

Graduate School of
Biomedical
Engineering

東北大学基金

東北大学医工学研究科は、医療機器あるいは医療技術に関わる工学系研究者と、医療技術革新を目指す医学系研究者が集まり、我が国初の医工学研究科として2008年4月1日に誕生いたしました。それ以来、“卓越した工学により医学医療の変革をもたらす研究と人材教育を行うことにより我が国、さらには世界中の人々の健康と福祉に貢献する”ことをミッションとし、研究教育活動を行って参りました。お陰様で、2018年4月で満10年を迎えました。この10年間に、多くの修了生を世に輩出することができました。近年は、入学志願者の数も増加の一途で、これに対応するため本年度からは、前期課程、後期課程ともに定員増をお認め頂きました。今後は改組を行い、従来のコースを再編すると共に、医療機器創生コースを新設する予定です。一方で、起業を目指す学生のための医工連携アントレプレナー教育プログラムや、新たに医療分野に進出する企業のための社会人リカレント医学教育プログラム等も順調に成果を上げてきております。今後、私たちはこれまで培ってきた教育・研究成果を社会実装して行くことに注力してまいります。医工学の発展は、私たち国民が健康で豊かな生活を送るために求められている技術課題を解決するために必要不可欠です。私たちはこれからの超高齢社会に向け、長期的な視野にたった教育・研究を安定的に推進し、次世代の研究者の育成を強力に推進していきます。そのために創立10周年を記念して「医工学研究科 教育研究支援基金」を設立いたしました。設立の趣旨をご理解いただくとともに、是非とも皆様方のサポートを賜りたく、お願い申し上げます。



2018年8月

東北大学大学院医工学研究科長

厨川 常元



東北大学医工学研究科は、わが国初の医工学に特化した大学院研究科として2008年4月1日に誕生し、世界トップレベルの医工学研究を推進するとともに、広い視野から研究開発の指導・推進ができる人材を育成して参りました。医工学は、医学・生物学と工学の境界領域を埋めると共に、これらを深く融合させることによって革新的な医学と工学の発展を目指す学問分野です。医工学研究科においては、深い工学的知識や技術、および幅広い医学・生物学、医療の知識の習得ばかりでなく、これらによって生体や医学、医療に関する新しい原理の発見や工学技術の開発などを可能にする思考過程を構築させる教育を行っています。医学と工学の融合領域における広い視野と深い知識を基本としつつ、豊かな社会の実現を目指し、自ら考えて研究を遂行し、医療・福祉における科学技術の発展と革新を担うことができる創造性と高い研究能力を有する人材育成ならびに高度な専門知識を有する技術者育成を教育の目的としています。超高齢化社会の到来に向けて、健康で豊かな生活を送るためには何が必要か、また解決すべき技術課題は何か、“医工学”はその答えの一つを導こうとしています。すなわち、医療という“サービス”を具現化するための診断装置、治療装置の開発を工学のシーズを駆使して製品化し、社会実装するという事です。本基金は、医工学研究科の支援を目的として設置することにより、医工連携を強力に推進する体制を更に充実させるとともに、先進的医療技術や医療機器の創出によりグローバルな視点で人類の健康に貢献するイノベーション人材を育成して参ります。



我が国の医工連携を推進発展させる戦略拠点である唯一の研究科として、新たな医工連携プロジェクトを創生するとともに、革新的医療機器の開発など、世界トップレベルの医工学研究拠点形成を目的とした様々な事業を推進していきます。

① 医工学の学術的発展の推進

医工学分野に係る著名研究者の招へい
学際領域におけるシンポジウム・ワークショップの開催

② 学生の海外派遣

学生の国際インターンシップへの支援

③ 産学連携による医工学研究の推進

医療機器産学連携エコシステム形成の推進・支援

概要

名称 医工学研究科 教育研究支援基金

寄附額 一口 10,000 円（本基金の趣旨をご理解いただき、できるだけ複数口のご協力をお願いいたします）

募集期間 2018 年度より募集を開始し、永続的な事業として実施いたします。

ご寄附の方法〔税制上の優遇措置〕

●個人としてお申込みをいただく場合

クレジットカード決済、郵便振替によるご寄附をお願いいたします。

クレジットカード決済をご希望の方は、東北大学基金ウェブサイトからお申込みください。

東北大学基金 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin>

〔税制上の優遇措置〕 税務署に確定申告をしていただくことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。

●法人としてお申込みをいただく場合

お申込書をお送りいたしますので、東北大学基金事務局までご連絡ください。

〔税制上の優遇措置〕 寄附金額全額を損金に算入することができます。

感謝の気持ちを込めて

●芳名の掲載

「東北大学基金寄附者芳名帳」および

「東北大学基金ウェブサイト」に掲載いたします。

●東北大学ロゴマークのオリジナルシールを謹呈

蒔絵風の写し絵シールを台紙に貼ってお届けします。

●賞および記念プレートの贈呈

ご寄附の総額に応じて賞を贈呈させていただきます。

種別	個人	法人・団体
栄誉功労賞	3,000 万円以上	1 億円以上
特別功労賞	1,000 万円以上	5,000 万円以上
功労賞	100 万円以上	1,000 万円以上
特別功績賞	50 万円以上	500 万円以上
功績賞	10 万円以上	100 万円以上

●功績賞以上の賞を受けられた寄附者さまへの特典

①寄附者顕彰銘板への芳名の掲載

東北大学片平キャンパス内エクステンション教育研究棟に設置している「東北大学基金寄附者顕彰銘板」に掲載させていただきます。

②「感謝のつどい」へのご招待

総長をはじめとした本学関係者との交流・意見交換を目的とした「東北大学基金感謝のつどい」へご招待いたします。

③東北大学校友会プレミアム会員として

の特典
広報誌の送付、大学主催のイベントへご招待いたします。

事業全般に関するお問い合わせ

東北大学大学院医工学研究科事務室総務係
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6
TEL: 022-795-7491
Email: bme-syom@grp.tohoku.ac.jp
<http://www.bme.tohoku.ac.jp>

寄附の方法・特典などに関するお問い合わせ

東北大学基金事務局（東北大学総務企画部社会連携課内）
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
TEL: 022-217-5058 / 022-217-5905
Email: kikin@grp.tohoku.ac.jp
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin>